

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	5152	(H.28)No.	5152
-----------	------	-----------	------

事務事業名	教育センター管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育センター	上谷 典秀	

会計区分	事業コード	469401
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育センター管理費	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	教育センター管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施 策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市の教育の中核的施設として、子どもたちの豊かな学びの保障、様々な教育課題の解決を図ることを目指し、教育センターの所期の目的である5つの機能を提供する施設として事業を展開します。
事業内容
施設を管理していくために必要な法定点検、管理委託、光熱費等に係る経費を子ども部所管の子ども発達支援センターと面積按分で負担します。空調等の従来から設置の施設備品等の老朽化に伴う修繕等や機能充実のために備品等を整備しさらなる事業の充実を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)			
			H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	設置の施設備品等の老朽化に伴う修繕等や機能充実のために備品等を整備しさらなる事業の充実を図ります。 需用費 4,362千円 役務費 427千円 委託料 3,481千円 使用料及び賃借料 2,077千円 備品購入費 839千円	設置の施設備品等の老朽化に伴う修繕等や機能充実のために備品等を整備しさらなる事業の充実を図ります。 需用費 4,967千円 役務費 733千円 委託料 3,629千円 使用料及び賃借料 2,035千円 備品購入費 180千円 維持補修費 450千円 合計 11,994千円	設置の施設備品等の老朽化に伴う修繕等や機能充実のために備品等を整備しさらなる事業の充実を図ります。	設置の施設備品等の老朽化に伴う修繕等や機能充実のために備品等を整備しさらなる事業の充実を図ります。	設置の施設備品等の老朽化に伴う修繕等や機能充実のために備品等を整備しさらなる事業の充実を図ります。

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		11,187千円		11,994千円	16,700千円	16,700千円	16,700千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	11,187	0	11,994	16,700	16,700	16,700
人工数							
職員		0.15人		0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等		1.00人		1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
②概算人件費	0千円	2,825千円	0千円	2,825千円	2,825千円	2,825千円	2,825千円
①+②総事業費	0千円	14,012千円	0千円	14,819千円	19,525千円	19,525千円	19,525千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
開設5年目を迎え、センター機能を発揮させるための備品を充実させるとともに、施設の老朽化に伴う修繕等、センターを快適に利用できるように環境整備に努めてきましたが、既設の大型空調機器や受変電設備等多額の予算を伴う改修が必要となっています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
高度で広範な機能や事業展開を進めていく拠点として、老朽化している施設整備など計画的に実施するとともに、必要性の高い備品設備を精選しながら充実させます。本市の教育力の向上を図るための総合的教育施設となるよう、備品や設備の導入を計画的に進めます。	第二次名張市子ども教育ビジョン